

GN209FA フルオートバグキー 取扱説明書

R23.03.24

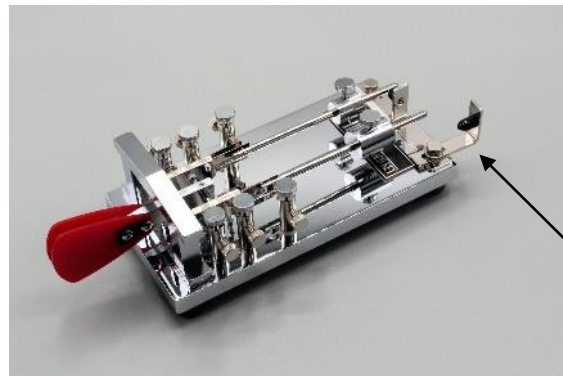
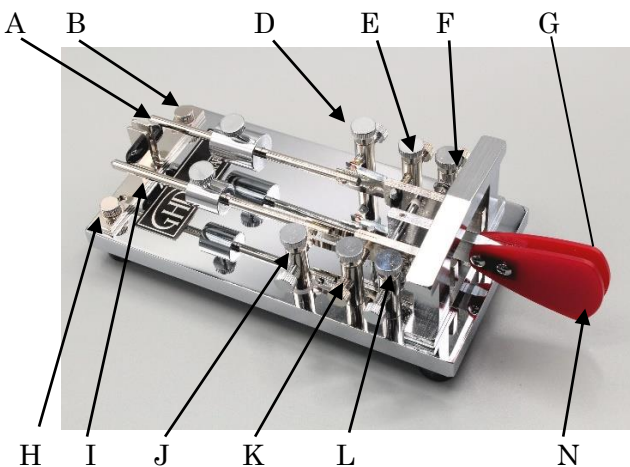
この度は GN209FA フルオートバグキーのお買い上げ誠に有難う御座いました

特徴

- ・短点及び長点の連続符号が出せます(エレキーの様な符号が出せますがかなりの練習と素質が要ります)

調整手順

- ① バグキーが置かれた机等が水平になっている事を確認します
- ② 錘を写真の様に取付ます (小さい錘は短点用です、大きい錘は長点用です、取付時は写真右のようにします)
- ③ 右側のメカが長点になります、シャフト A と振止めのシリコンゴムが軽く触れるようにネジ B で調整します
- ④ 左側のメカが短点になります、シャフト I と振止めのシリコンゴムが軽く触れるようにネジ H で調整します
- ⑤ ツマミ G を右から左に押した時にツマミの先端(体に近い方)が 2~3 ミリ動くようにネジ E を合わせます
- ⑥ この時のバネ圧をネジ F で合わせます
- ⑦ スペースと長点の比率が約 1:3 になるようにネジ D を合わせます、発生する長点の数は 5 個以上出れば良好です(メカ接点のフルオートバグキーの長点はデューティ比率が高いため、多くの符号を出すのは無理です)
- ⑧ 左側のメカが短点になります、つまみ N を左から右に押したときつまみの先端(体に近い方)が 1~2 ミリ動くようにネジ K を合わせます、この時のバネ圧をネジ L で合わせます
- ⑨ シャフト I に取り付けられた錘が左右に振れますがその動きが終息した時 ヘアピン接点とネジ J に取り付けられた接点が軽く触れるようにネジ J を微調整します
- ⑩ 各調整が終わりましたら 各ネジの上にある ロック用ネジを締めます



長点用の大きい錘を取り付ける時は上の写真の様に振り止め金具を一旦後ろ側にします(シャフトを無理に曲げずに 振り止め金具を一旦後方にズラシます)

ご注意

長点側の板バネは構造上薄く柔らかく出来ています、錘の取付けや錘の位置調整時は、余り力を入れずに優しく取り扱ってください、つまみを操作するときは**指の腹で優しくつまみを押す**ように操作してください、力を入れすぎると錘が動く前に接点が閉じてしまい**良い符号が出ません**、特に長点側は **落ち着いてゆっくりと操作**してください、フルオートバグキーは 他のキーと違い 使わして頂く という位の気持ちで操作してください 尚車での移動や発送する時は **各錘を外して下さい**、錘を取り付けたままでの移動や発送すると**板バネが破損する恐れがあります**

株式会社GHDキー

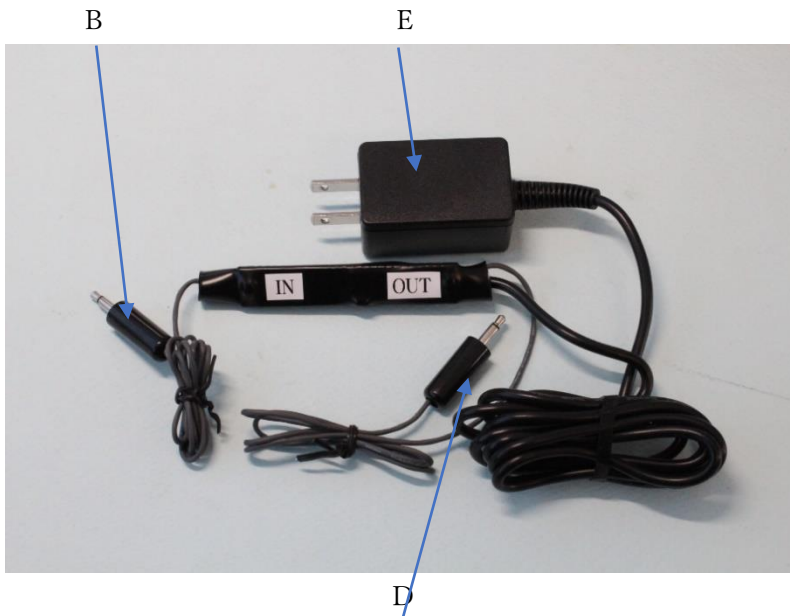
981-3326 宮城県富谷市明石下向田 24-14

022-779-0681

www.ghdkey.com

バグキー用コンデンサー付 リードリレーユニット の使い方

このユニットは バグキーの ヘアピン接点の チャッタリング による符号の濁りやかすれ を改善する ユニットです



- ① IN 側のプラグ B をバグキー(GN209W や GN209FA)に繋がます
- ② OUT 側のプラグ D をリグのキー端子に差し込みます (リグの端子が6.5Φの場合は ご自分でプラグを付け替えるか 3.5Φ-6.5Φ の変換プラグを別途ご用意ください)
- ③ AC アダプター E を電源コンセント に差し込みます
(例えば 秋月電子の 通販コード C-08693)
(例えば 千葉のサウンドハウスの CLASSIC PRO/APM221)

尚 フルオートバグキーを使用するときは リグの設定を ストレートキー(縦振りキー)にします

981-3326

宮城県富谷市明石下向田 24-14

(株)GHD キー

022-779-0681

keyis@ghdkey.com